

鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会(099-222-7770)

・秋季国体九州ブロック大会にて全種別で出場権獲得!! (2年連続の快挙)

8月17日(土) 福岡武道館

- ☆2位 成年女子(東京国体出場権獲得)
- ☆3位 少年男子(東京国体出場権獲得)
- ☆3位 少年女子(東京国体出場権獲得)

東京国体 県代表選手団

【成年男子】

- 監督 中村 勇 (鹿屋体育大教)
- 大将 堂前 賢吾 (鹿児島県警)
- 副将 内 健治郎 (鹿児島県警)
- 中堅 有馬 岳 (鹿児島県警)
- 次鋒 壺山 将 (鹿屋体育大)
- 先鋒 尾張 功樹 (鹿屋体育大)

【成年女子】

- 監督 福元 雅一 (鹿児島県警)
- 大将 稲森 奈見 (三井住友海上火災保険)
- 中堅 古賀ちなつ (鹿屋体育大)
- 先鋒 森崎由理江 (鹿屋体育大)

【少年男子】

- 監督 田原 幸一 (明桜館高校教)
- 大将 萩原 優太 (鹿児島情報高校)
- 副将 徳田 力也 (明桜館高校)
- 中堅 宮ヶ原拓也 (明桜館高校)
- 次鋒 富永 健斗 (明桜館高校)
- 先鋒 宮 一輝 (明桜館高校)

【少年女子】

- 監督 吉村 智之 (国分中央高校教)
- 大将 青柳 麗美 (鹿児島情報高校)
- 中堅 牧田 朱加 (鹿児島南高校)
- 先鋒 前田 千島 (国分中央高校)

国体九州ブロック大会が、福岡武道館で開催され、本県選手団は、昨年に引き続き全種

別の出場権を獲得しました。

柔道競技において、全種別で2年連続出場権を獲得したのは、九州ブロックでは本県のみ、全国でも愛媛県と本県の2県しかない大変な快挙であります。

しかも、一昨年までこのような快挙が全くない中、2年連続の獲得は、本県柔道愛好家が一丸となって取り組んでいる2020年鹿児島国体に向けた強化策の一環である年間を通じた強化練習の賜であります。

東京国体柔道競技は、10月5日(土)から7日(月)まで東京武道館で開催されます。これに向けての壮行会が、9月14日(土)に鹿児島市内のホテルにて、盛大に行われました。

北会長からは、ブロック大会での試合内容が紹介されました。滑り出しは、決して順調ではなかったが、選手監督が最後まで意気消沈することなく、出場権を獲得するのだという強い意気込みと粘りが、この結果を生んだとありました。また、東京国体では、選手監督一丸となり、気持ちを一つにして大会に臨むよう叱咤激励がありました。

次に、監督から選手紹介と頼もしい決意表明がありました。九州での勢いを東京国体でも遺憾なく発揮してください。期待しています。



2013/09/14

・世界カデ(15~17歳)選手権

8月8日(木)~11日(日)マイアミ
柔道女子52Kg級

☆前田 千島(国分中央高校2年)
銅メダル獲得!!

5月のドイツカデ国際大会では、オール1本勝ちして優勝しました。この勢いで臨んだ2度目の国際大会である世界カデ選手権では、見事銅メダルを獲得しました。後日の本人談として「負けたからこそ次に進める。立ち止まらず努力して、またこのような大会に出たい」と頼もしい決意表明がありました。今後の大いなる活躍を期待します。

柔道女子52kg級



☆北 哲郎会長が平成25年度生涯スポーツ功労者表彰を受賞

この度、北会長が、めでたく上記の表彰を受賞されることが決定しました。

この表彰は、文部科学省が、地域又は職場におけるスポーツの健全な普及発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ関係者に贈られるものです。

現在、柔道界にとって厳しい風が吹いている中、このような名誉ある表彰を受賞されることは、会長はもとより鹿児島県柔道会が、全国に認められた証であると思います。

なお、授賞式は、平成25年10月11日(金)東京千代田区の中央合同庁舎講堂にて、文部科学大臣から、表彰状及び記念品(銀杯)が贈られます。

また、受賞祝賀会を平成25年10月26日(土)サンロイヤルホテルにて行います。

・鹿児島県体育協会表彰者

【体育功労者】

- 西川 達也さん
長年にわたり本県柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。
- 福元 雅一さん
長年にわたり本県柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。

(道場めぐり 22)

忠氣道場の活動状況

代表者 野元堀 隆之

忠氣道場は、2012年に創設した新しい道場です。道場生は、小学部15名、中学部4名、高等部1名の計20名で、いちき串木野市B&G海洋センターにて稽古に励んでいます。

前身は、串木野柔道スポーツ少年団でしたが、近年、串木野地区はもちろんのこと地区外からも入門してくれる道場生が増えてきたため、地域枠を取り除き何か信念のある道場名をとという気持ちで「忠氣」と掲げました。

「忠」は、表裏なく真っ直ぐ。

「氣」は、氣の元来の漢字で、米の部分人間を意味し、人が八方に光を放つ様。

この2つの文字の意味を合わせ、人間(道場)が、表裏なく真っ直ぐな気持ちを八方に放つということで、信念と期待を込め忠氣道場の創設となりました。

私が串木野柔道スポーツ少年団を引き続き指導させていただくようになった9年前の団員数は、10名弱でした。それが、忠氣道場を立ち上げて約1年半程度で、倍の20名まで増えました。

道場生増加の要因として考えられることは、大きく3つあります。1つは、指導者の覚悟。2つ目は、保護者会の団結と後押し。3つ目は、指導者と保護者の考え方が同じ方向へ歩み出したことです。

三位一体 言葉で書くと簡単であります。道場単位で表現するまで実に9年間の年月がかかりました。

不思議なもので3つ(道場生・保護者会・指導者)の力が同じ方向を見ると、勝負や結果という概念にとられる気持ちがなくなり

現在を楽しむことができるようになったのです。

柔道が楽しい、稽古が楽しみとなると道場生の欠席率も激減し、稽古量は必然的に充実して、他道場への出稽古や出場試合数も飛躍的に増加しました。また、経験してきた技などを持ち帰り徹底的に研究しました。一つ一つの動作を理解できるまで追求していくことや各自が何をほしがっているのかを指導者や保護者が、しっかりと向き合う姿勢を大切にしていくと、自然に学ぶ態度や眼差しも良い方へ変化してきました。

人と人が繋がると自発的に挨拶もできるようになり、お互いが笑顔になります。同場内に厳しさだけでなく、時には微笑みや笑いが自然に出せるのが一番大切なことではないでしょうか。

挨拶をしなさい、稽古をしなさい、人とコミュニケーションをとりなさい、～しなさいでなく、挨拶ををしたい、稽古をしたい、人と話したいという感じで、道場生全員が、本来持ち合わせている意欲をもっともっと引き出していき、仲間同士で人間力を高めあえる道場を目標に頑張ります。

忠氣道場は、創設2年目のまだまだ未熟な道場ではありますが、鹿児島県の柔道を益々盛り上げていけるよう精力善用・自他共栄の心構えで日々精進していきます。

皆様、忠氣道場をよろしくお願ひ致します。



(道場めぐり 23)

南種子柔道スポーツ少年団の歩み

代表者 松原 大輔

南種子町には、今から30年前頃より、日

高道美氏や羽生一正氏、徳永哲郎氏が指導を行ってきた中平柔道スポーツ少年団がありましたが、ソフトボール競技などが盛んになる中で、生徒数も少なくなり、現在の少年団が始まる前の数年間、活動が途切れていました。

そのような中で、少年柔道の復活を目指して活動を展開したのが、平成17年でした。羽生一正氏が、ソフトボール少年団で活躍している子供たちに声をかけ、数名の生徒で活動を再開しました。それが現在の南種子柔道スポーツ少年団です。

どちらかという、ソフトボール中心(好き)の子供たちは、なかなか柔道の試合で思うような結果は残せませんでした。柔道が好きで練習には欠かさず来ていたのを思い出します。

また、活動を再開するにあたり、熊毛地区柔道会をはじめ多くの方々より、南種子町の少年柔道復活に対して多数の激励や応援があったことも励みになりました。

活動を続ける中で徐々に部員も増え、保護者の方々からの声もありスポーツ少年団への登録も平成21年より再会しました。

南種子柔道スポーツ少年団が、柔道の姿勢として掲げるのは「攻めの柔道、一本をとる柔道」であります。そのような柔道を目指す中で、学び、身につけて欲しいことは「己を尽くし、最後まであきらめない」姿勢です。

少年期にそのような人として芯となる気概を少しでも育成できればと、平日頃より心がけながら、指導者・保護者一体となって南種子柔道スポーツ少年団は活動をしています。

現在の指導体制は、立石学、河野栄二の2人の指導者を中心に、柔道経験のある父兄がサポートをしています。

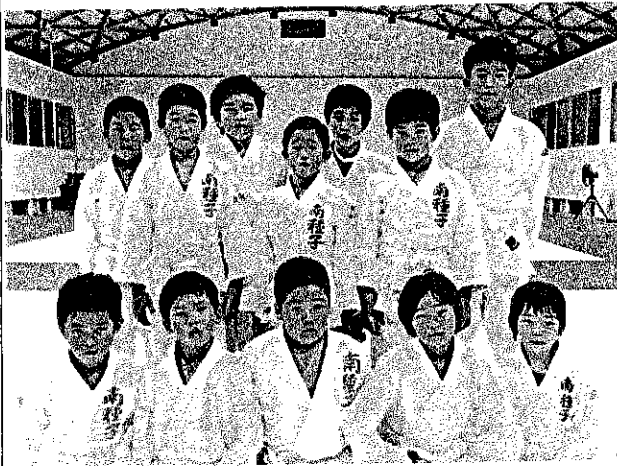
子供たちは、情熱のある2人の指導のもと、厳しくも温かい指導を受け伸び伸びと練習をし、各大会への参加で県内の子供たちと切磋琢磨する中で、心身ともに鍛えられています。

今年も、団体戦での入賞をはじめ、個人戦における全国大会への出場など、再開当初には、想像できなかった結果も出てきております。

これも、様々な人に支えられ、子供たちはもとより、指導者・保護者ともども柔道を通

じて学び、成長してきた証だと思えます。

今後も、県柔道会の先生方のご指導を賜り、熊毛地区をはじめ県内の柔道関係者のご協力を仰ぎながら、柔道の底辺拡大と子供たちの健全な育成に、少しでも尽力できるよう努めていきたいと思えます。



各種大会の成績 (6月~9月)

・県ジュニア体重別選手権大会

6月8日(土) 鹿児島アリーナ

- ◇男子 (55 Kg 級)
 - 1位 渡邊 協 (鹿屋体育大学)
 - 2位 黒葛野勇志 (鹿児島情報高校)
- ◇男子 (60 Kg 級)
 - 1位 斉藤 昂矢 (鹿屋体育大学)
 - 2位 宮 一輝 (明桜館高校)
- ◇男子 (66 Kg 級)
 - 1位 田中 佑磨 (鹿屋体育大学)
 - 2位 岩永 憲門 (鹿屋体育大学)
- ◇男子 (73 Kg 級)
 - 1位 角町 秀貴 (鹿屋体育大学)
 - 2位 古川 大樹 (鹿屋体育大学)
- ◇男子 (81 Kg 級)
 - 1位 徳永 一光 (鹿屋体育大学)
 - 2位 高吉 俊章 (鹿児島情報高校)
- ◇男子 (90 Kg 級)
 - 1位 関根 太三 (鹿屋体育大学)
 - 2位 荒巻隆太郎 (鹿屋体育大学)
- ◇男子 (100 Kg 級)
 - 1位 安部 祥央 (鹿屋体育大学)
 - 2位 徳田 翼 (鹿屋体育大学)
- ◇男子 (100 Kg 超級)
 - 1位 飛松 直樹 (鹿屋体育大学)
 - 2位 鼻崎 悠 (鹿屋体育大学)

- ◇女子 (44 Kg 級)
 - 1位 佐々木 瞳 (鹿屋体育大学)
 - 2位 日笠山 愛 (川内商工高校)
- ◇女子 (48 Kg 級)
 - 1位 木山 楓 (鹿屋体育大学)
 - 2位 飛松 杏奈 (鹿児島情報高校)
- ◇女子 (52 Kg 級)
 - 1位 田中優紀奈 (鹿児島水産高校)
 - 2位 稲泉 愛璃 (出水中央高校)
- ◇女子 (57 Kg 級)
 - 1位 永田ひかり (鹿児島南高校)
 - 2位 大久保来来 (鹿児島南高校)
- ◇女子 (63 Kg 級)
 - 1位 青柳 美希 (鹿児島情報高校)
 - 2位 湯之上歩惟 (鹿児島南高校)
- ◇女子 (70 Kg 級)
 - 1位 牧田 朱加 (鹿児島南高校)
 - 2位 宮崎 繭 (鹿児島南高校)
- ◇女子 (78 Kg 級)
 - 1位 青柳 麗美 (鹿児島情報高校)
 - 2位 大森さやか (鹿屋体育大学)
- ◇女子 (78 Kg 超級)
 - 1位 泉田 凜 (鹿屋体育大学)
 - 2位 鬼塚葉瑠奈 (鹿児島情報高校)

県ジュニア体重別選手権ルネッサンス

鹿屋体育大学2年 豎山 将

おはようございます。鹿児島情報高校を卒業して2年目になります。高校卒業までは、自宅から通学していたので、食事、洗濯、掃除等親に世話をしてもらいましたが、今では、自分でやるのが当たり前になりました。大学生活の中で感謝できる気持ちが増し、謙虚さも意識することが多くなりました。

思い通りの成績をあげたときも、そうでないときも、日頃の練習がうまくいくときも、そうでないときも柔道ができることへの感謝、さらに発展するための謙虚さを常に持ち続けたいです。海外に遠征に行かせてもらったときに、海外選手の柔道に対するひたむきさに気づかされるものがありました。そういう出来事により、また1つ自分自身が成長できたような気がしました。

今後の目標は、全日本柔道ジュニア体重別選手権・世界柔道ジュニア体重別選手権・全日本学生柔道体重別選手権で優勝することで

す。そのために毎日の私生活を整え、練習に妥協せず、やるだけやってみます。

これからもこの鹿児島の地で、日本一を目指し、将来は日本代表選手の夢を持ち、世界で戦っていけるような選手を目指します。

・**県下中学校柔道大会**

6月9日(日) 鹿児島アリーナ

◇**団体戦(男子)**

- 1位 川辺中学校
- 2位 坊津学園中学校
- 3位 中種子中学校
- 3位 鹿屋東中学校

◇**団体戦(女子)**

- 1位 舞鶴中学校
- 2位 伊敷中学校
- 3位 帖佐中学校
- 3位 中種子中学校

◇**個人戦(男子)**

- 1位 宮ヶ原康平(鹿屋東中学校)
- 2位 大久保魁皇(川辺中学校)

◇**個人戦(女子)**

- 1位 古市 真愛(種子島中学校)
- 2位 上林山未来(鹿屋東中学校)

県下中学校柔道大会ルネッサンス

霧島市立国分中央高校2年 前田 千島

こんにちは。霧島市立国分中央高校2年生の前田千島です。

私は、4月に大阪で行われた全日本カデ柔道体重別選手権大会52Kg級に出場し、優勝することができました。そして、5月にドイツのベルリンで行われたドイツカデでも18歳未満の日本代表として派遣され、6試合ともオール一本勝ちという内容で、優勝することができました。

私が出場した52Kg級は、全8階級の中で人数が一番多い68人が出場していたため少しびっくりしましたが、表彰式の時にメダルをかけてもらい、君が代が流れたときには、本当に感動し優勝の実感がわいてきました。

今回のドイツ大会が、私にとって初めての海外での試合だったので、たくさんの貴重な経験ができました。変則的な組み手からの隅返しや接近戦の多い柔道スタイルなど日本選

手とは違う部分で、戸惑うこともありましたが、大会時間も朝8時くらいから始まり決勝戦が終わったのは、夜8時くらいで、これまで長い時間試合をしたことがなかったので、とても驚きました。

次は、8月にアメリカのマiamiで世界カデ柔道体重別選手権があります。そこで今まで練習してきたものをすべて出し切り優勝することが、今一番の目標です。

私が、このように多くの大会に出場させていただき試合ができることは、今まで柔道を教えてくださった多くの先生方や応援してくださっている方々のおかげだと思っています。お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからもさらに上を目指して頑張っていきたい思います。

私は、高校に入学し、夢は思いが強ければ強いほど叶うことを教わりました。今、私が、毎日練習している学校の道場にも「夢見る勇氣 叶える気力」という書が掲げられています。これからも大きな夢を持ち、その夢を叶えるための毎日を過ごしていきたいと思えます。

以上、大会報告と世界カデへの抱負をお話しさせていただきました。試合前の大切な時間に私の話を聞いてくださりありがとうございました。試合頑張ってください。

・**全九州高校総体(柔道競技)**

6月15日(土)・16日(日)

長崎県新諫早市体育館

☆**前田 千島(国分中央)個人優勝**

◇**女子団体戦**

- 3位 鹿児島情報高校

◇**男子個人戦(60Kg級)**

- 3位 宮 一輝(明桜館高校)

◇**男子個人戦(73Kg級)**

- 3位 富永 健斗(明桜館高校)

◇**男子個人戦(100Kg超級)**

- 3位 萩原 優太(鹿児島情報高校)

◇**女子個人戦(52Kg級)**

優勝 前田 千島(国分中央高校)

◇**女子個人戦(57Kg級)**

- 3位 大久保來來(鹿児島南高校)

◇女子個人戦(70Kg級)
 3位 牧田 朱加(鹿児島南高校)

◇女子個人戦(78Kg級)
 3位 青柳 麗美(鹿児島情報高校)

◇女子個人戦(78Kg超級)
 3位 山下 里奈(国分中央高校)

・**県下小学生学年別柔道大会**
 6月23日(日) 鹿児島アリーナ

◇男子4年生(40Kg級)
 1位 岡元美乃合(柔心館)
 2位 井上 凌我(枕崎)

◇男子4年生(40Kg超級)
 1位 東郷 丈児(修道館)
 2位 三原 航大(修道館)

◇男子5年生(45Kg級)
 1位 立石 倫大(南種子)
 2位 吉元 翔摩(柔心館)

◇男子5年生(45Kg超級)
 1位 中村 來寿(伊佐)
 2位 小島 大尚(三笠)

◇男子6年生(50Kg級)
 1位 濱田 聖良(南種子)
 2位 浦門 祐成(双葉)

◇男子6年生(50Kg超級)
 1位 早田 悠(南界)
 2位 岩坪 龍輝(正道館)

◇女子4年生(35Kg級)
 1位 中馬 優衣(米倉)
 2位 坂元 葵衣(県武館)

◇女子4年生(35Kg超級)
 1位 宮原 妃南(末吉)
 2位 末吉 真子(修道館)

◇女子5年生(40Kg級)
 1位 前田 彩(内)
 2位 城戸 鼓夢(県武館)

◇女子5年生(40Kg超級)
 1位 芝原 和花(かわなべ)
 2位 神園 桃羽(大始良)

◇女子6年生(45Kg級)
 1位 中馬 梨歩(米倉)
 2位 向吉 湖菜(青雲)

◇女子6年生(45Kg超級)
 1位 三崎 茉莉(米倉)
 2位 清水 風音(坊津学園)

・**九州ジュニア体重別選手権大会**
 7月7日(日) 福岡武道館

☆ **鹿児島県勢大活躍5人が優勝!!**

◇男子(66Kg級)
立山 将(鹿屋体育大学)

◇男子(81Kg級)
徳永 一光(鹿屋体育大学)

◇男子(100Kg級)
飛松 直樹(鹿屋体育大学)

◇女子(44Kg級)
佐々木 瞳(鹿屋体育大学)

◇女子(52Kg級)
前田 千島(国分中央高校)

・**県中学校総体(柔道競技)**
 7月23日(火)・24日(水)
 鹿児島アリーナ

◇**団体戦(男子)**
 1位 鹿屋東中学校
 2位 川辺中学校
 3位 坊津学園中学校
 4位 末吉中学校

◇**団体戦(女子)**
 1位 舞鶴中学校
 2位 鹿屋東中学校
 3位 帖佐中学校
 4位 中種子中学校

個人戦(男子)

◇男子(50Kg級)
 1位 加藤 輝(財部中学校)
 2位 冨森 海斗(舞鶴中学校)

◇男子(55Kg級)
 1位 宮田寅之介(川辺中学校)
 2位 前山 和俊(立神中学校)

◇男子(60Kg級)
 1位 安達 乃真(鹿屋東中学校)
 2位 内村 秀資(鹿屋東中学校)

◇男子(66Kg級)
 1位 清水 颯汰(坊津学園中学校)
 2位 松野下和摩(立神中学校)

- ◇男子(73Kg級)
 - 1位 吉村 太一(鹿屋東中学校)
 - 2位 川畑 智央(末吉中学校)
- ◇男子(81Kg級)
 - 1位 吉野 弘人(野田中学校)
 - 2位 藤崎 晃介(中種子中学校)
- ◇男子(90Kg級)
 - 1位 大脇 充倫(伊敷中学校)
 - 2位 久保 優哉(帖佐中学校)
- ◇男子(90Kg超級)
 - 1位 大久保魁皇(川辺中学校)
 - 2位 前山 倭希(金久中学校)
- 個人戦(女子)
 - ◇女子(40Kg級)
 - 1位 小川 真未(田代中学校)
 - 2位 岩元 愛優(志布志中学校)
 - ◇女子(44Kg級)
 - 1位 藤田 真由(鹿屋東中学校)
 - 2位 西 李香(吉野中学校)
 - ◇女子(48Kg級)
 - 1位 瀧川 琳花(伊敷中学校)
 - 2位 清水 美穂(坊津学園中学校)
 - ◇女子(52Kg級)
 - 1位 小原 理生(舞鶴中学校)
 - 2位 森 瑞穂(伊敷中学校)
 - ◇女子(57Kg級)
 - 1位 長谷川 楓(帖佐中学校)
 - 2位 豊永 華純(末吉中学校)
 - ◇女子(63Kg級)
 - 1位 上釜さくら(枕崎中学校)
 - 2位 崎山久美子(帖佐中学校)
 - ◇女子(70Kg級)
 - 1位 野間 陽(舞鶴中学校)
 - 2位 末吉 千湖(宮之城中学校)
 - ◇女子(70Kg超級)
 - 1位 上林山未来(鹿屋東中学校)
 - 2位 古市 真愛(種子島中学校)
- ・九州中学校総体(柔道競技)
 - 8月4日(日)・6日(火)
 - 山鹿市総合体育館
- ◇個人戦男子50Kg級
 - 3位 加藤 輝(財部中学校)

- ◇個人戦男子55Kg級
 - 3位 宮田寅之介(川辺中学校)
- ◇個人戦男子66Kg級
 - 2位 清水 颯汰(坊津学園中学校)
- ◇個人戦男子81Kg級
 - 3位 吉野 弘人(野田中学校)
- ◇個人戦女子57Kg級
 - 3位 長谷川 楓(帖佐中学校)
- ◇個人戦女子70Kg級
 - 3位 野間 陽(舞鶴中学校)

・全国中学総体(柔道競技)

8月18日(日)～21日(水)

三重県営サンアリーナ

- ◇個人戦男子66Kg級
 - 3位 清水 颯汰(坊津学園中学校)
- ◇個人戦女子44Kg級
 - 3位 藤田 真由(鹿屋東中学校)

・全日本ジュニア体重別選手権

9月7日(土)・8日(日)

埼玉県立武道館

- ☆男子66Kg級
 - 優勝 豎山 将(鹿屋体育大学)
- ☆女子78Kg超級
 - 優勝 稲森 奈見(鹿南高出身三井住友海上)

- ◇男子60Kg級
 - 3位 齋藤 昂矢(鹿屋体育大学)

・第67回県体柔道競技

9月15日(日)

サンアリーナせんだい柔道場

- ◇予選リンク
 - 枕崎1-2日置, 鹿児島2-②川薩, 南さつま1-3出水, 熊毛①-1肝属, 始良3-1曾於, 大島4-1伊佐, 日置0-3鹿児島, 川薩2-0南さつま, 出水0-1熊毛, 肝属1-3始良, 曾於2-1大島, 伊佐2(代)-2枕崎
- ◇決勝トーナメント(3チーム進出)
 - 始良2-0川薩

◇決勝 熊毛 0-5 始良
 ☆優勝 始良(連覇)



第67回県民体育大会柔道競技は、始良・伊佐地区の始良が2年連続の優勝を飾りました。誠におめでとうございます。

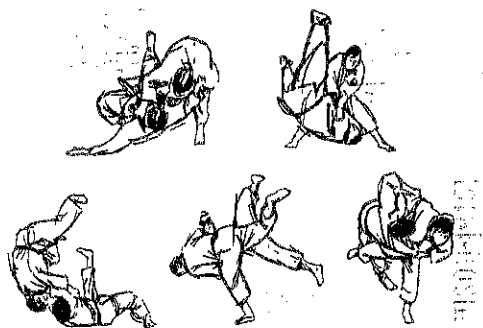
今大会は、平成21年まで県下12地区を持ち回りで開催していたものを、鹿児島市で連続3回開催した後、薩摩川内市で開催されました。

当日は、サンアリーナせんだい柔道場の素晴らしい施設で、薩摩川内・さつま地区柔道会役員の方々を中心にしたスムーズな運営の元、郷土を代表した選手たちが一生懸命戦い充実した大会となりました。

来年度の県民体育大会柔道競技は、南九州市知覧町で開催されます。

第67回県民体育大会 川薩大会

柔道競技



日時：平成25年9月15日(日) 午前9時30分
 会場：サンアリーナせんだい 柔道場

主な行事予定(10月~1月)

- 10月 5日 第68回国民体育大会(東京)
- 10月 23日 県高校新人柔道大会~24日
- 11月 2日 県中学新人体重別大会
- 11月 9日 県下少年柔道大会
- 11月 16日 県選抜中学生強化練習
- 12月 21日 県選抜中学生強化練習
- 12月 26日 寒稽古~27日(県武道館)
- 12月 28日 稽古納め
- 1月 11日 稽古始め
- 1月 18日 県選抜中学生強化練習
- 1月 25日 高校柔道選手権大会~26日

【柔道競技豆知識】

西暦2020年は、東京オリンピックと鹿児島国体が開催される年です。

東京でオリンピックが開催されるのは、2回目になります。1回目の開催は、1964年(昭和39年)で、この大会から柔道競技が正式種目に加えられ、実施されたのは男子のみの4階級でした。

競技結果は、68Kg以下級で中谷雄英(金メダル)、80Kg以下級で岡野功(金メダル)、80Kg超級で猪熊功(金メダル)、無差別級で神永昭夫(銀メダル)でした。ちなみに、無差別級の金メダリストは、オランダのアントン・ヘーシンクでした。

男子は、次のオリンピックである1968年メキシコでは、実施されませんでした。1972年のミュンヘンから復活し、現在に至っています。

一方女子は、1988年ソウルから公開競技となり、1992年バルセロナから正式種目として実施されています。

また、1回目の鹿児島国体については、第24号でも述べましたように、男子の部のみで、成年男子、教員男子、少年男子の3部門でした。現在は、成年男子、少年男子、成年女子、少年女子の4種別になっています。

【編集後記】

2020年東京オリンピックが決定し、同じ年に鹿児島国体開催と国や県を挙げてのビッグイベントになります。最近、この流れを盛り上げるための成果が出ているのを感じます。今以上の一丸となった取組を!! (N)